

～「住みたい、住んでよかったと感じるまち」の実現に向けて～
平成30年度予算案を審査

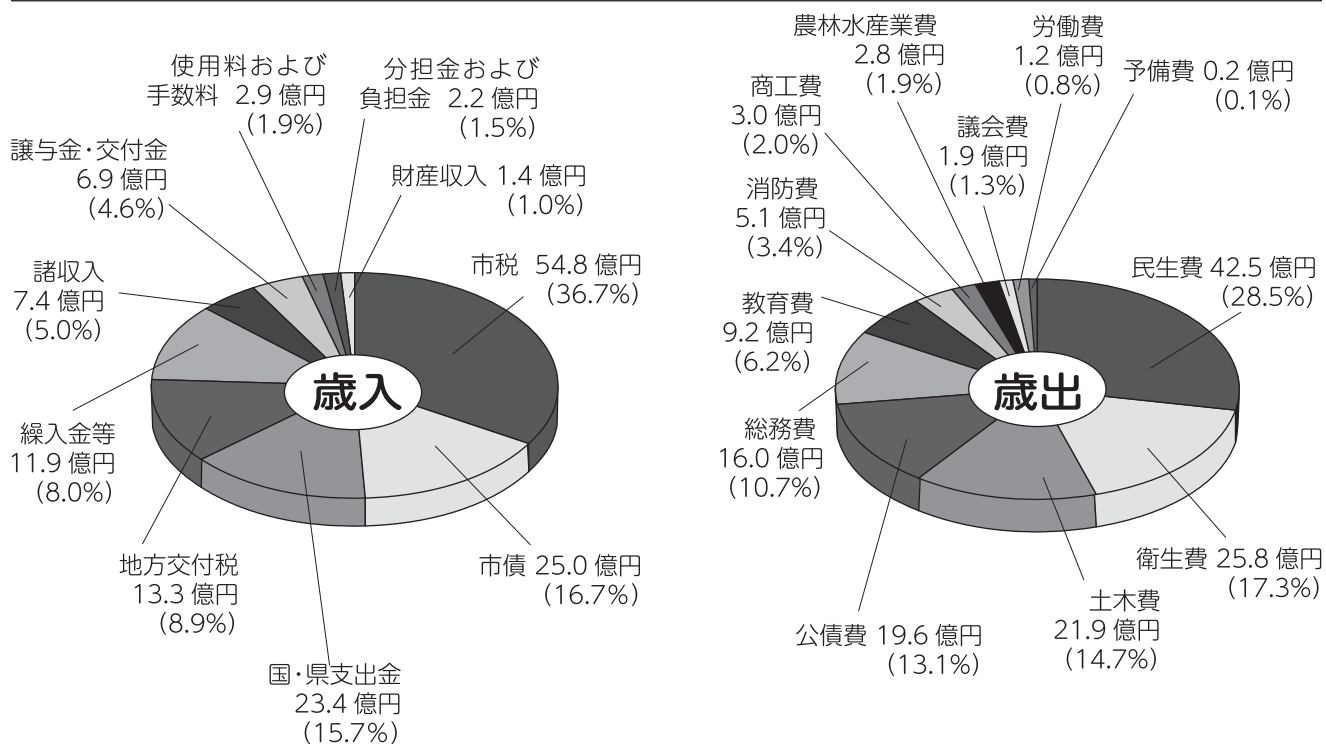
会計別予算額

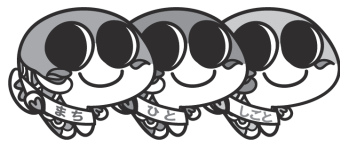
一般会計	149億2,461万円	
特別会計	国民健康保険	32億4,170万円
	漁業集落排水	3,424万円
	農業集落排水	4,721万円
	港湾施設管理受託	5,821万円
	土地造成	3億9,679万円
	介護保険	26億3,692万円
	後期高齢者	4億6,051万円
	小計	68億7,558万円
企業会計	水道事業	7億5,256万円
	工業用水道事業	10億7,666万円
	公共下水道事業	14億989万円
	小計	32億3,910万円
総合計	250億3,929万円	

3月定例会において提案された、平成30年度各会計予算は、4日間（3月14、15、16、19日）にわたり予算特別委員会において慎重に審査した結果、総額250億3,929万円（企業会計を含む）を可決しました。
 平成30年度の主要事業と、審査における質疑及び答弁の一部をご紹介します。

将来にわたりまちづくりに取り組むことができる財政運営を！

一般会計当初予算内訳（総額 149.2 億円）





主要事業の一部を 紹介します

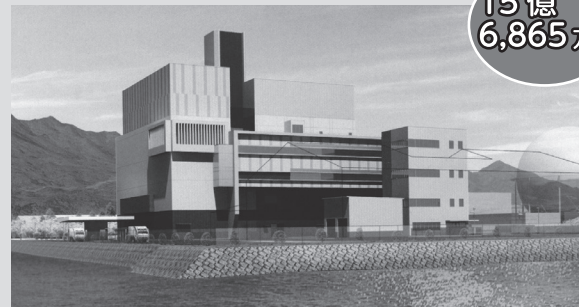
新規議会ICT化事業

300万円

委員会等会議にタブレット端末を活用した会議システムを導入します。議員にタブレット端末を貸与し、会議の効率的な運営を目指すとともに、必要な資料を電子化することで紙資源の節減を図ります。



15億
6,865万円



可燃ごみ広域処理事業

廿日市市内に整備中の次期廃棄物処理施設は、平成30年度中に完了し平成31年4月から可燃ごみを搬入する予定です。大竹市には市域の過年度分を集積する中継施設を整備します。

新規農道・水路維持補修事業 (大河原ため池改修事業)

3,200万円

ため池決壊による下流地域(元町・本町・白石地区)への被害を防除し市民の安全を確保するため、土堰堤を一部除去し排水路の整備を行います。



369万円



新規文化財保存・継承事業

国の明治150年事業キャンペーンにからめて、西国街道を歩く歴史を学ぶイベントなどの開催や歴史観光資源の修復を行います。

再編交付金基金積立事業

1億
8,942万円

○あたたかあたた基金

阿多田島の生活の安定を助成する事業を実施しています。

○にこにこ子ども基金

子どもの医療費助成事業を実施しています。

○健やか安心基金

「妊婦乳幼児健康診査事業」「大腸がん検診自己負担額無料化事業」「生活見守りサービス支援事業」など5事業に加え、平成30年度から「不妊治療助成事業」を実施します。

○教育環境充実基金

小方学園プール市民開放事業などを実施しています。

450万円



新規不妊治療費助成事業

広島県が行う助成制度に上乗せして助成を行うとともに、所得制限で県の助成が受けられない方も対象とします。

**予算特別委員会での
質疑・答弁**

●市民活動保険制度について

Q 協働のまちづくり推進事業の、保険料予算の使途について問う。

A 平成30年4月から、市民活動団体が安心して活動に参加できるよう、活動中の思わぬ事故を対象とした市民活動保険制度を始める。

●認知症対策について

Q 認知症での徘徊への対策を問う。

A 徘徊対策については、社会福祉協議会と大竹警察署の事業で「徘徊高齢者等SOSネットワーク」という取り組みがある。また、介護保険特別会計の予算で「身まもりタグ」という事業を始める予定である。



**●工場夜景
写真撮影ツアーについて**

Q 工場夜景を大竹の観光スポットとして本格的に事業化していくということなのか。また、ルートや時期等、内容について問う。

A 30年度は、商工会議所創立70周年記念事業である工場夜景海上ツアー事業に補助金を交付する予定である。その他の市の事業として、11月から2月ごろに、市内の旅行者に委託して工場群の撮影スポットをまわり、その後市内飲食店で交流会を行う工場夜景写真撮影ツアーを開催する予定である。



大竹市の工場夜景

**●広島県総合防災訓練の
共同実施について**

Q 広島県石油コンビナート・総合防災訓練について、大変大規模な訓練のようであるが、訓練内容と予算を問う。

A 大竹地区を含め県内3地域で、2年毎に実施する石油コンビナート等総合防災訓練と、県内他都市で実施の広島県総合防災訓練を本市で共同実施することとなったもので、県内で初の試みとなる。

**●可燃ごみ広域処理事業
について**

Q 廿日市市との可燃ごみ広域処理事業について、施設の進捗状況、またその他お気づきの点を問う。

A 平成30年11月末には施設の建設工事が完了し、12月から翌年3月まで試運転を行い、平成31年の4月から稼働の見込みである。廿日市市より、試運転には大竹市の議員視察も受入れできるよう検討しているとのことである。

**●晴海臨海公園の
整備計画について**

Q ファミリーゾーンの大型遊具の工事状況を問う。また、さかえ公園の様なウォーキングゾーンの整備予定を問う。



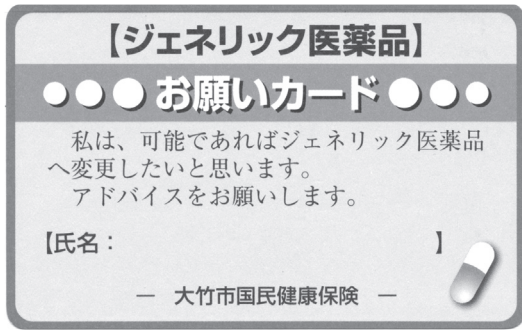
晴海臨海公園の新しい遊具

A 複合遊具工事は3月末には完成予定である。今後の晴海臨海公園の整備計画にはウォーキングゾーンの整備も含まれている。

●ジェネリック医薬品の普及促進について

Q ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及促進への取り組み状況を問う。

A 国保連合会に委託し、ジェネリック医薬品の普及促進の通知をおこなっている。平成29年9月診療分で、約320万円の医療費削減効果があったと聞いている。



国民健康保険被保険者へのジェネリック医薬品変更お願いカード

●学校のICT導入について

Q 学校へのタブレット導入について、導入される学校名と台数を問う。

A 現在、小方小学校40台、玖波小学校に35台配備している。今後大竹小学校に43台程度、栗谷小学校に1台程度を配備予定である。中学校への配備については、小学校での使用状況を見ながら検討していきたい。

●駐留軍等再編交付金について

Q 駐留軍等再編交付金の支給は、平成34年度まで延長された。新聞によると平成35年度以降も拡大・延長を約束という記事があったが、期待してよいのか問う。

A 新聞には「国は延長・増額を確約」とあるが確約は受けていない。延長をお願いしており、取り組みを続ける必要がある。

Q 平成30年度までで合計45億交付される。各年度では一部基金に積立られている。基金は使い勝手が良いが、河川や道路維持管理等への基金積立は可能か問う。

A 基金は、継続ソフト事業、学校建設など複数年で行うハード事業で作っているが、経常的な事業の基金は確認が必要である。

●大竹会館の改修事業について

Q 今後、設計業務はどのように進めていくのか。また改修の詳細について問う。

A 総務文教委員協議会でレイアウト図を配布したが、基本設計もまだなので今後、内容は変更予定である。改修の詳細については、大竹会館協会との協議は何度も重ねている。また、市民が憩える場所、防災機能を持った場所になるようこれからも協議検討していく。

●中長期的な財政運営について

Q 当初予算の提案説明で、将来予想される財政負担に備え、中長期的な視点での予算づくりとのこと。将来の財政運営の考えについて問う。

A 再編交付金による基金を運用し、必要なソフト事業を行っている。平成28年度からの積み増しに加え、近い将来、想定される大きな事業に備えて地方創生事業基金にも積み増しをしている。基金や交付金を活用し、中長期的には市債増を抑えた財政運営をしていきたい。

●水道管路の更新について

Q 有収率の改善にむけて、老朽化した水道管路の更新は必要だが、多大な費用も伴う。今後どのように取り組む予定であるのかを問う。

A 配水管改良の工事請負費を計上している。栄町地域での赤水対策が、平成30年度中に完了する。今後は通常の更新予定だが、他の優先事態対応をしつつ、更新率の向上を図りたい。有収率については、赤水対策で捨て水が有り、更新が進めば、相応の改善ができるの見込んでいる。

●晴海の分譲地について

Q 晴海住宅分譲地について価格改定等の検討状況や残り区画数を問う。

A 平成28年3月に価格の改定を行っており、3区画契約し、平成29年度は一区画が契約予定である。現在の残り区画数は、契約予定の一件を除いて11区画ある。

委員会

【反対討論】

○「一般会計から土地造成会計に繰り入れされている。また、最高裁に上告中で一般会計を賛成すると追認したとらえられてしまうため、一般会計と土地造成会計に反対」

【賛成討論】

○「大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略にそった大型予算である。今後の大竹市の市政に大きな期待を感じさせる充実した予算であるため賛成」

※委員会で採決の結果、全会計とも原案のとおり可決

本会議へ

本会議

【反対討論】

○「大願寺土地造成地安売り売却の負担が市民や職員に多大な迷惑をかけている。現在裁判中であり、原告である者が本予算を認めたら不利になる恐れがあるため反対」

【賛成討論】

○「第五次総合計画の新規事業が20件、拡充事業が14件となっており、『計画の基盤が整ったまちづくり』や『安全なまちづくり』など積極的な予算編成であるため賛成」

○「一般会計と土地造成特別会計は裁判中であり反対。上水道会計について、反対ではないが、不要な県用水を毎年1億円以上、数十年も買い続けていることは是正を求めます。」

○「前年度予算に比べ大幅な増額だが、可燃ごみ広域処理事業が主な要因であり、市債残高も前年度に比べ横ばいである。市債減少のペースを守りながらの予算であり賛成」

本会議で採決の結果、全会計とも原案のとおり可決

予算特別委員

委員長	和田 芳弘
副委員長	北地 朋久
委員	和地 芳弘
	児玉 朋也
	賀屋 幸治
	大井 涉
	網谷 幸孝
	山崎 年馨
	藤井 年馨



政務活動費の公開について

平成28年度分(4月～3月の現議員分)政務活動費収支報告書を市ホームページで公開しています。平成29年度分は、報告書ができ次第、公開します。

【大竹市HP→市議会のページ→政務活動費】

領収書については情報公開の手続きが必要となりますのでご了承ください。

詳しくは、大竹市議会事務局までお問い合わせください。